

Jabra GN



## 教室で何台もPCが起動していても混線の心配なし! 「神レベルの話しやすさ」と子どもたちから絶賛される オンライン交流にピッタリなHD音声スピーカーフォン

2023年に創立150周年を迎える長野県松本市立開智小学校。歴史と伝統ある学校であると同時に、WEB会議を活用した外部とのオンライン交流という新たな試みにも積極的という一面を持ち合わせている。その同校に新たに導入されたのが、Jabraのスピーカーフォン(マイク付きスピーカー)『Jabra Speak 750』だ。そのSpeak 750を使ったオンライン交流会の様子取材した。

### 別のPCや隣の教室との「混線」が心配だった…。 Speak 750ならワイヤレスなのに混線ゼロ!

今回取材したのは松本市立開智小学校。その日は岐阜県高山市立東小学校との6年生同士によるオンライン交流会が行われていた。開智小学校にとって、これが、Speak 750を使ったはじめての交流会とのことだ。

交流会がはじまる直前、先生からは「ワイヤレスは接続の安定性が心配。音の途切れや混線はないだろうか」という声もあった。

教室のチャイムが鳴り、交流会がスタートする。開智小学校の子どもたちはチームごとに順番に前に出て、教卓に設置されたノートPCとSpeak 750を使って、オンライン越しの東小学校の皆に自作のスライド資料を発表していく。内容は松本市の名所や出身の著名人、開智小学校の歴史など様々だ。緊張で声が小さくなる子もいたが、Speak 750のHD音声マイクが漏らさず声を拾っていたため、子どもたちの声はしっかり相手校に届いていたようだ。その証拠に、発表が終わるたびに相手校からの盛大な拍手が、Speak 750のスピーカーを通して聞こえてきた。

心配されていた音の途切れや混線は起きることなく交流会は幕を閉じた。交流会に参加した同校6年生の担任の先生も「接続の途切れや、教室内の別のPCとスピーカーフォンとが混線しないか心配でしたが、全く問題ありませんでしたね!」とSpeak 750の安定したワイヤレス性能を評価した。



#### Company

Customer : 松本市立開智小学校

Website : <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/kyoiku/2055.html>

Country : 日本

#### Profile

1873年(明治6年)5月設立。児童数581名(令和4年4月1日現在)。全国でも有数の歴史を誇る公立小学校であり、旧校舎は国宝として指定されている。「愛正剛」を校訓に掲げ、近年ではICT学習や外部でのオンライン交流も積極的に行われており、国内だけでなく海外の学校との交流も行われている。

#### Jabra Solution

##### Jabra Speak 750

- 商品番号 7700-309(MS)/7700-409(UC)
- 標準価格 ¥48,400(税抜)
- 想定使用人数 1~6名





## 内蔵マイクでは音質が悪く、音割れもひどかった…。 Speak 750は会話しやすく、子どもたちも夢中!

続いて子どもたちにもSpeak 750を使ってみた感想をたずねた。すると子どもたちは目を輝かせて「これめっちゃ良いよ!俺も一台欲しい!」「すごく聞きやすかったです!」「見た目もカッコいい!」「神レベルに話しやすい!」と、驚くほどの熱量で口々にSpeak 750を絶賛してくれた。話を聞くと、発表の練習ではじめて使った時からお気に入りだという。Speak 750の何が子どもたちの心をここまで掴んだのか?担任の先生に伺ってみると、こう答えてくれた。

「目新しさもあるとは思いますが、やはり『話しやすさ』が大きいのではないのでしょうか?以前まではPC内蔵のマイクで通話していたのですが、それだと音質が悪く、声が聞こえにくいことが多々ありました。とくに海外の学校と交流する際には、ただでさえ慣れない英語での会話ということもあって、意思疎通が難しかった印象があります。また、子どもたちは元気一杯でマイクに向かって大きな声で話しかけてしまうことも多いので、これまでの内蔵マイクや内蔵スピーカーでは声が割れてしまうという問題もありました。Speak 750ならそういった問題が解消されるので、大きな声でも声が割れず、会話がしやすいということが嬉しいのだと思います」

## ワイヤレスだから教室中を自由に動いて、 PCから離れた位置からでも授業ができる!

そもそもなぜ松本市はSpeak 750を選んだのか?選定に携わった松本市の職員さんは次のように話す。

「現場の先生たちにどんなデバイスが欲しいか聞いたら、PCから離れた位置からでも通話できるワイヤレス機能を求める声が多く寄せられました。ワイヤレス性能に優れたSpeak 750なら、そうしたニーズにも応えられるはず。そう思ったのも選定理由の大きな一つです」

最後に開智小学校の校長先生に、オンライン交流やICT活用といった新たな試みを推進するコツを伺った。

「大切なのは、まず始めてみる。一度やれば課題が見えてきますし、何とかなるという意識も芽生えてきます。最初から100%を目指すのではなく、専門家や学校で授業支援を行っているICT支援員などにカバーしてもらいながら全員でトライ&エラーすることが重要なのではないのでしょうか」

こうした前向きなチャレンジ精神の影響だろう。今回のオンライン交流会の途中でも映像の乱れなどのトラブルはあったものの、子どもたちは一切取り乱すことなく、自発的に試行錯誤し、先生と共に課題解決に取り組んでいた。まさに学校一丸になって学びを模索しているという印象を受けた。

そんな同校の学びを支えるSpeak 750は、多くの学校にすすめてくれる教育用デバイスの新定番だといえそうだ。



右:校長 玉水智香子 様  
中央:学校教育課 課長補佐 福嶋 高志 様  
左:6年1組担任 桂本 憲一 様